

# 2011年第2四半期決算

2011年12月1日

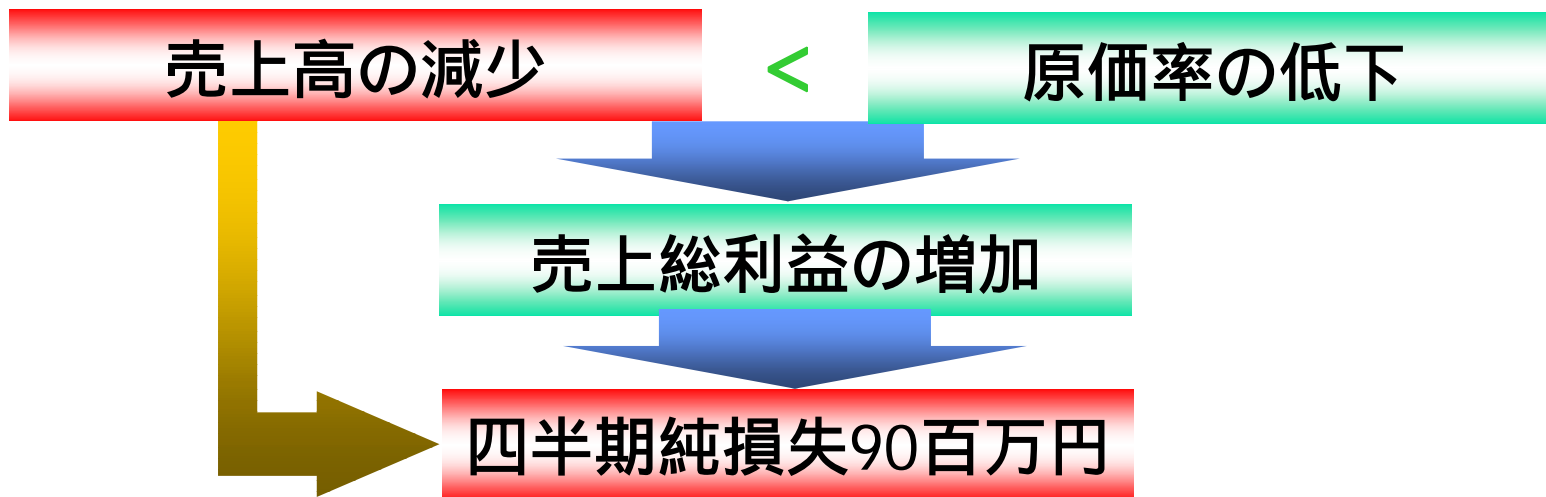
鉦研工業株式会社

# 決算の概要(第2四半期累計)

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	10/2Q	11/2Q	増 減	10/2Q	11/2Q	増 減
受注高	3,033	2,472	560	2,699	2,071	627
売上高	2,700	2,023	676	2,211	1,796	414
営業利益	124	40	83	149	45	103
経常利益	198	82	116	224	87	136
四半期純利益	295	90	205	319	87	232
	11/3末	11/9末	増 減	11/3末	11/9末	増 減
総資産	7,110	6,393	717	6,771	5,918	852
借入金	2,518	2,253	265	2,518	2,253	265
自己資本	1,549	1,460	89	1,351	1,264	87
(自己資本比率)	(21.8%)	(22.8%)		(20.0%)	(21.4%)	

# 2011年2Q決算(連結)のポイント



- 海外売上高の減少により、売上高は前年同期比676百万円(25.1%)減  
～ 中国鉄道建設停滞等の影響、ODA工事案件の減少
- 原価率は前年同期に比べ9.5ポイント低下  
～ 大型工事案件における原価低減が奏功  
売上総利益は前年同期比65百万円増加
- 売上総利益は増益となるも、売上高が低水準  
～ 四半期純損失90百万円

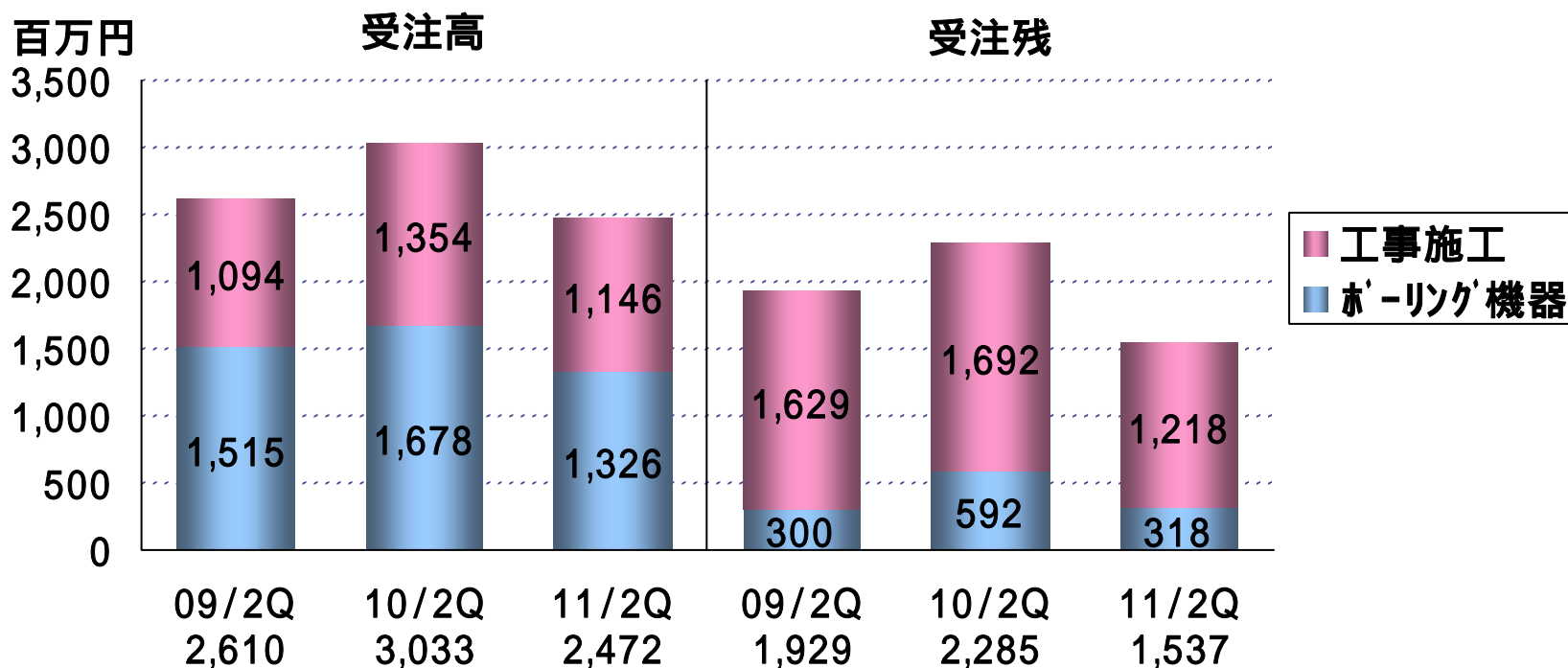
# 要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	10/2Q	11/2Q	前年同期比増減	
売上高	2,700	2,023	676	25.1%
売上原価 (原価率)	2,189 (81.1%)	1,447 (71.6%)	742 ( 9.5p)	33.9%
売上総利益	510	575	65	12.7%
販売費管理費	634	616	18	2.9%
営業利益	124	40	83	- %
営業外損益	74	41	32	- %
経常利益	198	82	116	- %
特別損益	87	7	95	- %
法人税等他	8	14	5	- %
四半期純利益	295	90	205	- %

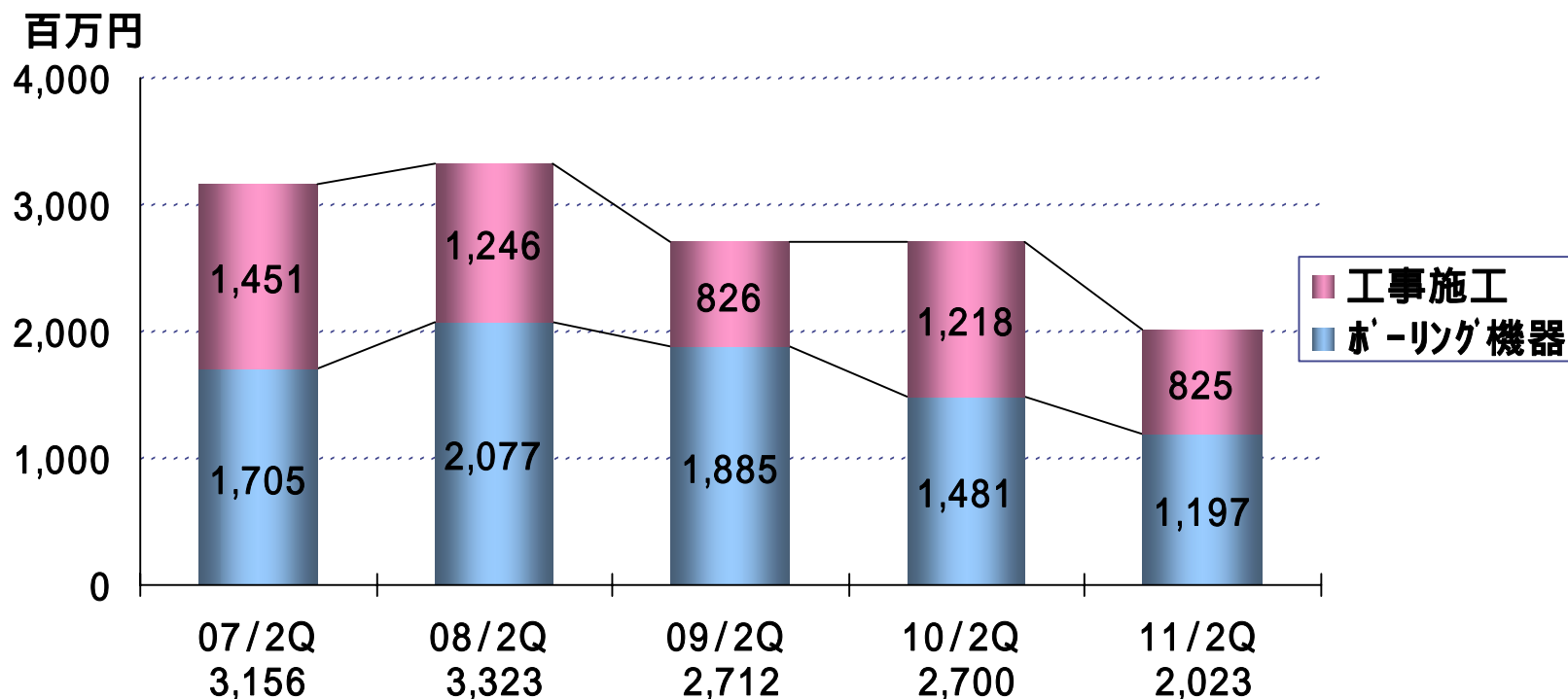
# 受注状況…受注高は前年同期比18.5%減

- 受注高は2,472百万円、前年同期比560百万円減
  - ～ ホールディング機器は、国内受注は増加したものの、中国を始めとする海外受注の減少により、352百万円減
  - ～ 工事施工は、国内受注の減少により208百万円減
- 11/9末受注残は1,537百万円、前年同期比747百万円減少



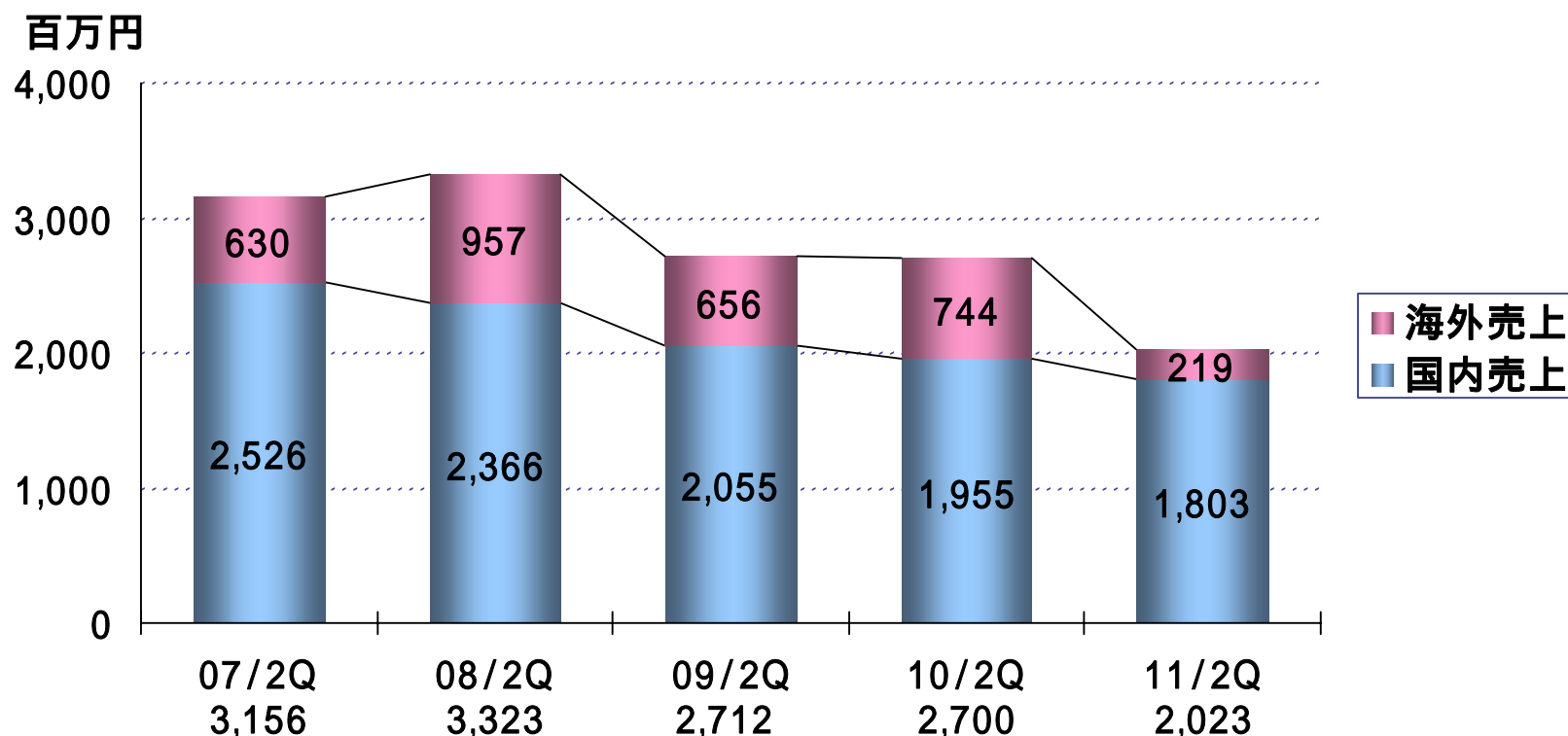
# 売上高・・・前年同期比676百万円(25.1%)減

- ホールディング機器1,197百万円、前年同期比283百万円減  
～中国を主体に海外販売が減少
- 工事施工825百万円、前年同期比392百万円減  
～海外工事の減少 ODA工事が前年の3カ国からブルキナファソ1カ国に



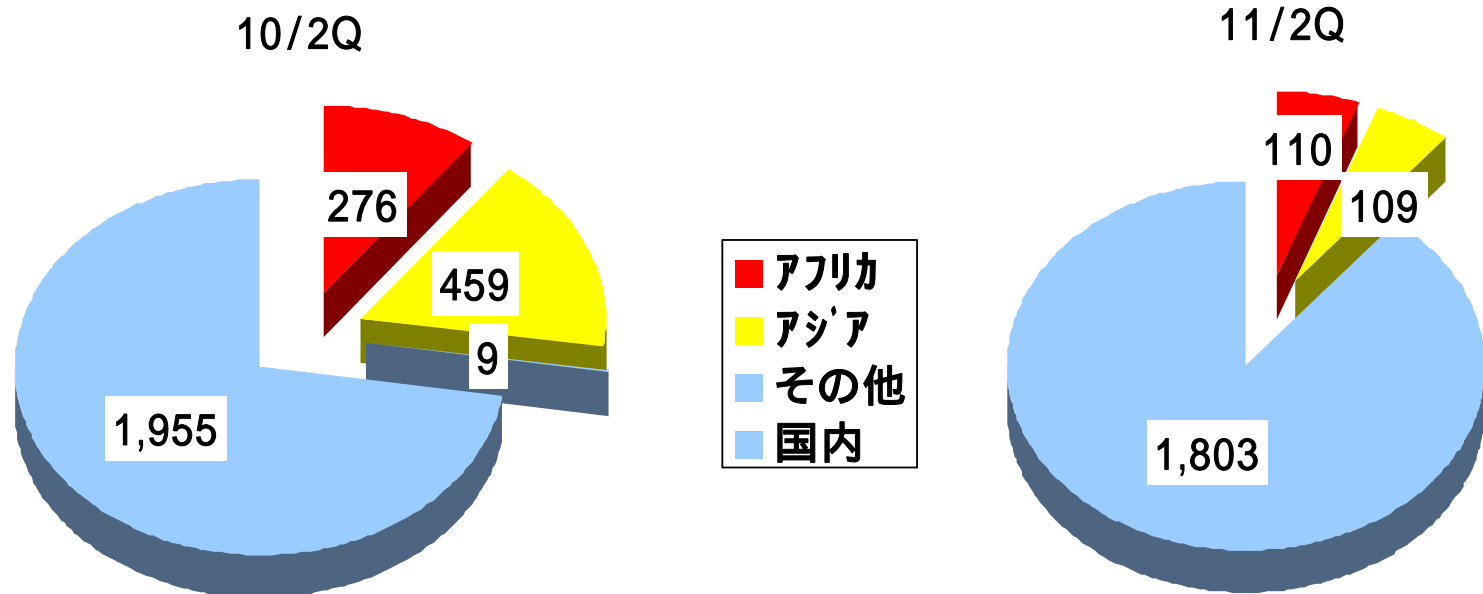
# 海外売上高…前年同期比70.5%減

- 海外売上は219百万円と前年同期比524百万円減
- ホーリング機器、工事施工ともに減少
  - ～ホーリング機器：中国鉄道建設停滞に伴う売上減
  - 工事施工：ODA工事案件が前年の3カ国から1カ国に減少



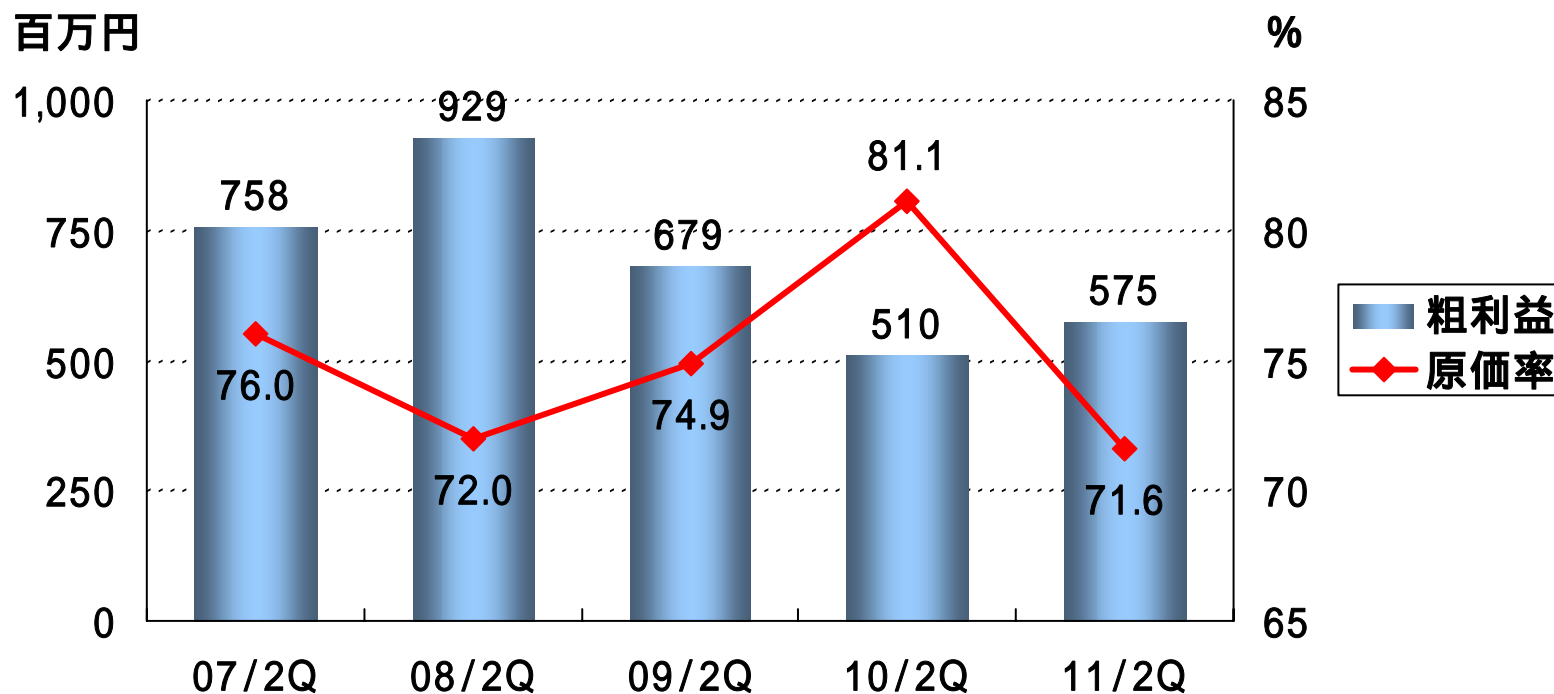
# 地域別売上高

- アジア 中国・・・トンネル工事向けホーリング機械輸出  
韓国・・・ホーリング機械輸出  
スリランカ・・・ホーリング機械輸出、ダム関連工事
- アフリカ ブルキナファソ・・・ODAによる水井戸掘削工事  
エチオピア・・・ホーリング機械輸出



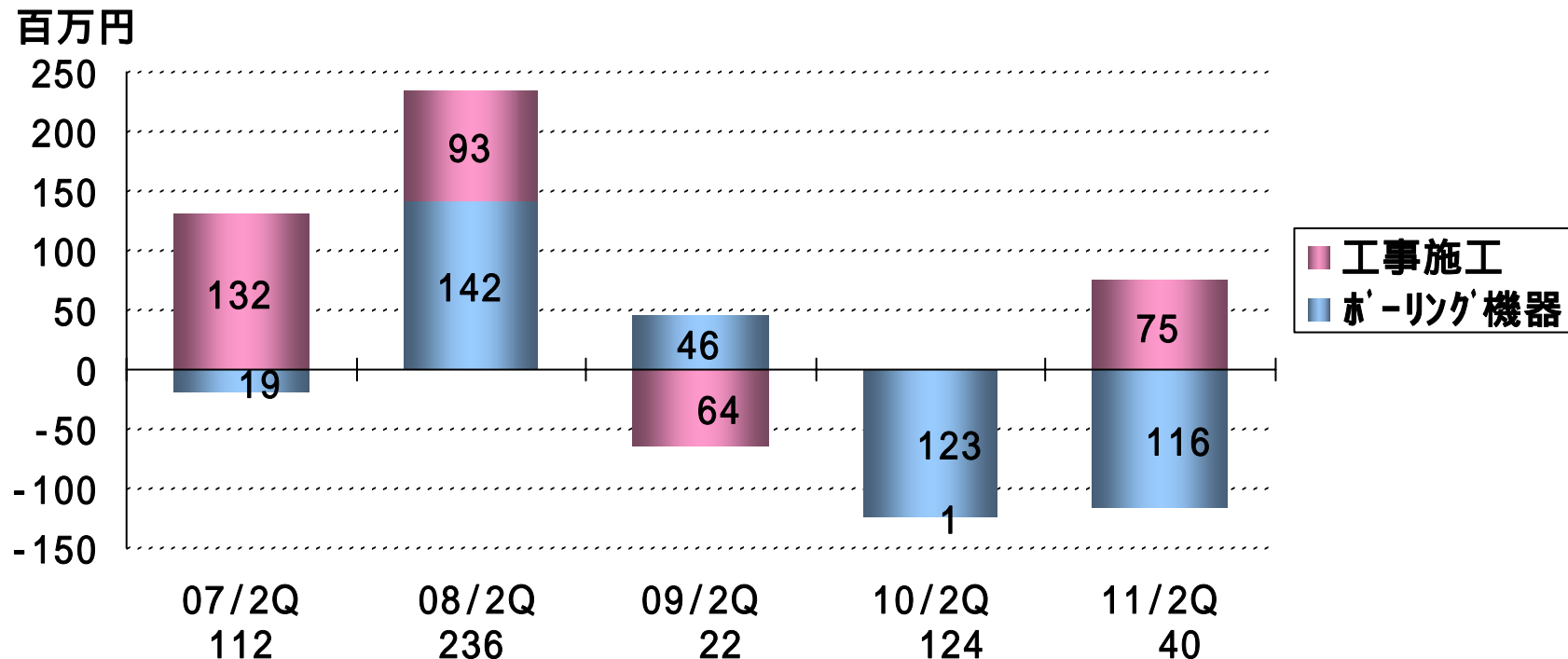
# 粗利益の推移…前年同期比12.7%増

- 粗利益は575百万円  
～ 原価率低下により粗利益は増加
- 原価率低下要因  
～ 工事施工：国内大型工事における原価低減の奏功  
採算の厳しいIODA工事のウェイト減少



# セグメント別営業利益

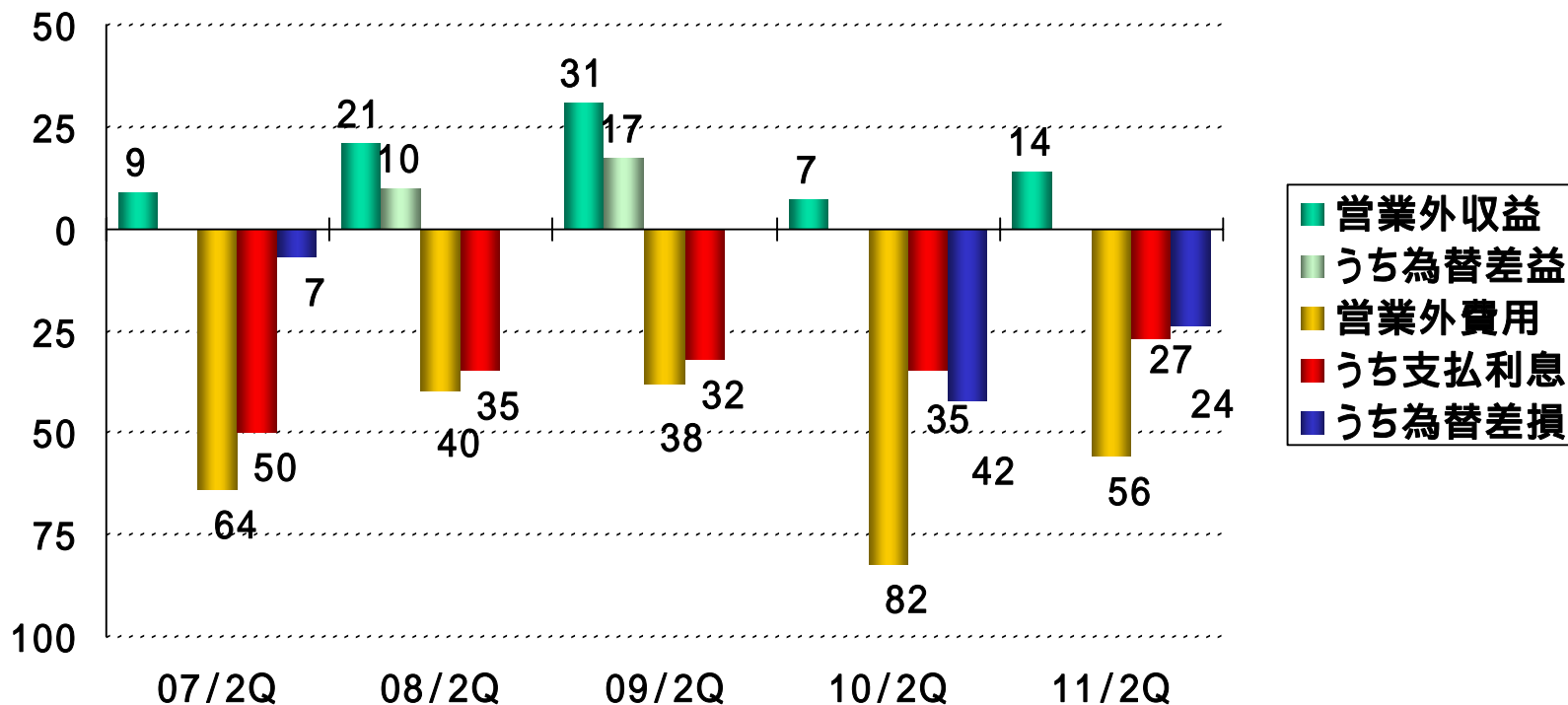
- ホールディング機器は営業損失116百万円  
 ~ 売上高は前年同期比 283百万円となるも、原価率低下により、ほぼ前年同期並みの損益
- 工事施工は75百万円の営業利益  
 ~ 大型工事案件における原価率低減が奏功



# 営業外損益

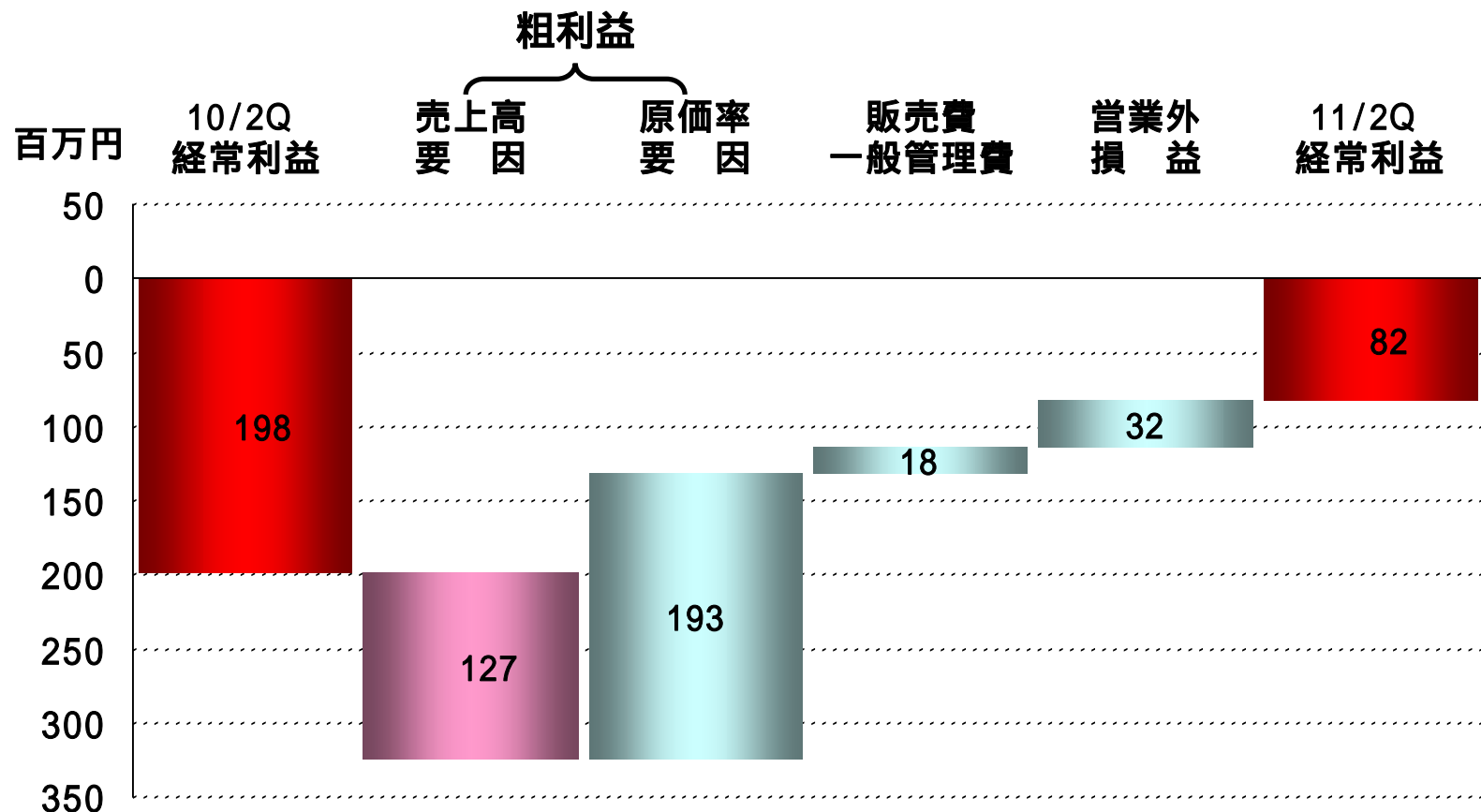
- 営業外収益・・・6百万円増加(貸倒引当金戻入額:4百万円)
  - 営業外費用・・・26百万円減少(為替差損の減少:17百万円)
- 為替差損益: ODA工事に係る外貨支払分の為替リスクをヘッジするため、為替予約を実施しており、当期は円高により差損が発生

百万円

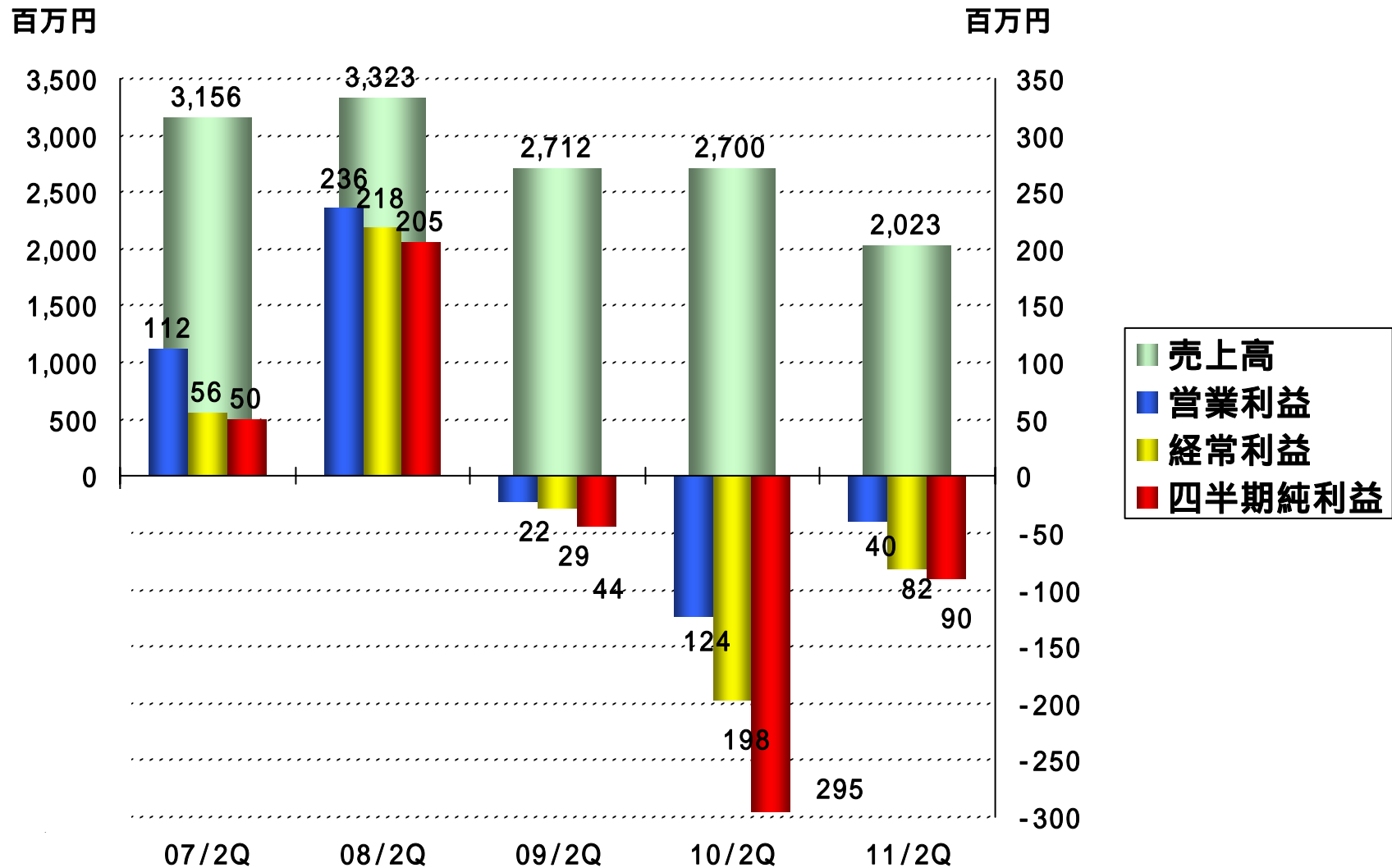


# 前年同期との経常利益差異要因

- 原価率低減が売上高減をカバーし、粗利益は65百万円増加
- 経費削減に努め、販売費・一般管理費を前年同期比18百万円削減
- 営業外損益の改善もあり、経常損失は116百万円の損失減



# 売上高・利益の推移



# 連結貸借対照表の概要(資産)

- 総資産は6,393百万円、717百万円減少  
 ~ 資金回収により売上債権が大幅に減少  
 売上高減少に伴いたな卸資産が増加

(単位:百万円)

	11年3月	11年9月	増 減
現金及び預金	1,125	723	401
売上債権	1,899	1,037	861
たな卸資産	1,859	2,448	588
その他流動資産	119	143	24
<b>流動資産計</b>	<b>5,003</b>	<b>4,353</b>	<b>650</b>
有形固定資産	2,005	1,942	63
無形固定資産	7	6	0
投資その他資産	94	90	3
<b>固定資産計</b>	<b>2,107</b>	<b>2,040</b>	<b>66</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,110</b>	<b>6,393</b>	<b>717</b>

# 連結貸借対照表の概要(負債・純資産)

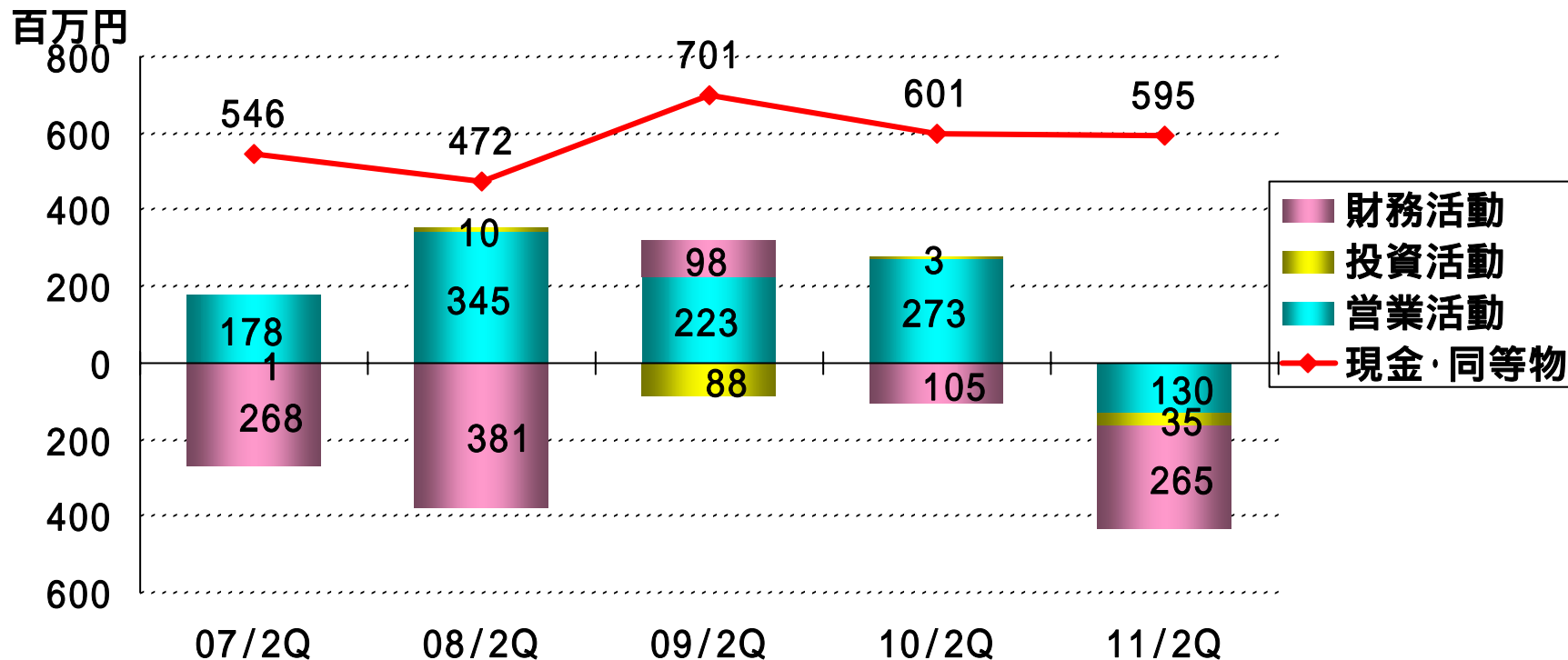
- 有利子負債は11/3末比265百万円減少
- 11/9末自己資本は1,460百万円、自己資本比率22.8%

(単位:百万円)

	11年3月	11年9月	増減
買入債務	1,544	1,164	380
短期借入金	844	740	104
社債・長期借入金	1,673	1,513	160
その他共負債合計	5,542	4,913	628
資本金	1,846	1,846	0
資本剰余金	1,687	1,687	0
利益剰余金	2,119	2,209	90
その他包括利益累計	136	136	0
その他共純資産合計	1,568	1,479	88
負債・純資産合計	7,110	6,363	717

# キャッシュ・フロー（CF）

- 営業CFは、売上債権の減少866百万円、棚卸資産の増加590百万円、仕入債務の減少380百万円等により、130百万円の支出
  - ～ 投資CFは定期預金の預入により35百万円の支出
- 財務CFは借入金返済により265百万円の支出
  - ～ 現金・現金同等物は期首に比べ437百万円減少



# 12年3月期連結業績見通し

- 売上高は5,800百万円を予想・・・中国を中心とする海外販売の伸び悩み
- 売上高減少の影響により、経常利益は48百万円の見込み
- 当期純利益は30百万円を予想

(単位:百万円)

	11年3月期	12年3月期	増 減	
売上高	6,691	5,800	891	13.3%
営業利益	296	125	171	57.8%
経常利益	221	48	173	78.4%
特別損益	164	7	171	- %
当期純利益	29	30	0	2.5%

注) 上記予想は、当社が2011年10月24日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。